

	準備	導入期	手術～回復前期		1日後(月 日)	2日～4日後以降(月 日～ 日)
		1日前(月 日)	当日(月 日)	術後		
達成目標	<入院中の服装> 前あきのパジャマ このほか「入院ご案内」を参考にご準備下さい。 <禁煙について> 肺合併症を起こす原因になるので、手術前は禁煙していただくようお願い致します。 <その他> 手術時間は入院後お伝えします。 入院後主治医からの説明の際、ご家族の同席をお願いする事があります。	手術の必要性を理解し、手術の準備ができる。	精神的、身体的に安定した状態で手術に望むことができる。 	①全身状態が安定している ②出血がない ③創痛がコントロールできる	①全身状態が安定している ②食事が摂取できる ③創痛がコントロールできる ④歩行が出来る ⑤排ガスがある	
薬剤		★持参薬があれば、看護師に提出してください。 ★夕食後にラキソベロン(下剤)を1本飲みます。		★夕方より鎮痛剤の内服が始まります。		
注射			★点滴を行う場合があります。	★翌日朝まで持続点滴があります。	★午前中に点滴が終了します。	
処置		★手術に必要な部位の除毛(必要時)と臍処置を行います。	★下剤内服後の便が不十分の時は、浣腸を実施します。	★酸素マスク、心電図モニター・血圧計・フットポンプをつけます。	★9時から廻診があります。	
検査					★検査はその都度説明します。	
安静度			制限はありません。	★床上安静です、安定すれば歩行も可能です。	★制限はありません。歩くようにしましょう。	
食事/水分		★食事は夕食までです。 ★水分(茶・水)は翌日6時まで飲めます。	★6時以降飲水できません。	★腸の動きを確認後、夕方から飲水可となります。	★朝から食事が始まります。	
留置物				★尿道カテーテルが入っています。トイレまで歩けるようになれば管を抜きます。お腹に管が入る場合もあります。		
看護		★シャワー浴をしましょう。			★体を蒸しタオルで拭きます。	★シャワー浴ができます。
観察		★手術に備え、血圧など全身の状態をチェックします。	★手術前に血圧など全身状態のチェックをします。	★麻酔の覚醒状態を観察します。血圧など全身状態や、創の状態を観察します。		
教育・説明		★主治医と麻酔科医より手術について説明があります ★看護師よりオリエンテーションを行います ★手術承諾書を提出してください。	★排尿を済ませたあと、眼鏡・時計・指輪・義歯・コンタクトをはずしてください。	★痛みのあるときや、眠れないときはお知らせください		★退院後の生活、下痢がある場合は脂肪の多い食事を控えるようにし、徐々に摂取量を増やしていくようにしましょう。★退院後、外来で抜糸(抜鉤)を行なう場合もあります。退院前に次回受診日をお知らせします。

※患者様の状態によって変更する場合がありますのでご了承下さい
 ※手術当日のパジャマはフリース素材禁止です。寝衣のレンタルもあります。
 ※腹帯購入をお願いする場合があります。
 ※入れ歯、ジェルネイル、カツラ、アクセサリー、コンタクトは手術当日処置等で必要な際は取り外しをお願いします。また入院中のお化粧もご遠慮下さい。

|